

取引所CFDの特徴とメリット



- 当資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスや商品のご紹介/勧誘を目的としています。
- 証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- 取引所CFD(株365)の取引対象である株価指数は、価格、配当予想額、為替、金利等の変動によって変動します。これにより、取引所CFD(株365)のお取引においては投資元本を割り込む恐れがあります。また、お客さまが行う取引の金額がその取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額であることから、その損失の額は、お客さまが預託されている証拠金の額を上回る可能性があります。

手数料:153円(片道約定1枚あたり/税込)

証拠金:東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定めます。証拠金の額は変動するため、取引金額証拠金に対する比率は一定ではなく明記することができません。

●掲載情報は2014年04月01日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

商号カブドットコム証券株式会社
 金融商品取引業登録番号関東財務局長(金商)第61号
 銀行代理業許可番号関東財務局長(銀代)第8号
 加入協会日本証券業協会、金融先物取引業協会

※「株365」は株式会社東京金融取引所の商標です。

目次

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

取引所CFD(株365)の特徴とメリット

取引所CFD(株365)とは	P3
取引の対象となる株価指数	P4
日経225先物取引との違い	P5
いくらから取引できるのか	P6
レバレッジをかけない取引	P7
追加証拠金(追証)とは	P8
海外主要指標発表時の取引	P9
取引所CFDを使ったヘッジ	P10

取引所CFD(株365)とは

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

取引所CFD(Contract For Difference/差金決済)とは:

東京金融取引所に上場されている商品で、現物株式のように売買代金全額を受け渡すのではなく、差損/差益のみを受け渡して決済する取引のことです。また、取引所CFD(株365)は、取引対象が日経225等の株価指数であるため、個別銘柄を選ぶ現物株式と比べて分かりやすいという特徴があります。

取引所CFD(株365)の特徴

取引期限がない

取引所CFDは、保有する建玉を決済しない限り、自動的に翌取引日にロールオーバー(繰り越し)されますので、取引期限を気にせず取引をすることができます。

日経225先物取引のように限月がありません。

日経225の取引が ほぼ24時間可能

「取引所CFD」の日経225証拠金取引では、土・日曜日、1月1日(1月1日が日曜日の場合は1月2日)を除いた毎日、ほぼ24時間取引が可能です。

祝日でもほぼ24時間の取引ができます。

投資資金以上の 取引が可能

取引所CFDは、お客様からお預かりした資金(証拠金)を担保として、その数倍の金額を取引することが可能です(レバレッジ効果)。

少額の資金で多額の利益を得ることもあれば、逆に多額の損失を被ることもありますので、取引の際は商品の性質を正しく理解し、適切な金額で投資を行う必要があります。

「売り」からも取引が可能

取引所CFDは「買い」からだけではなく、「売り」からも取引をすることも出来ます。

ある銘柄が値下がりすることを予測した場合、銘柄を売り(売り建玉を保有する)、値下がりがしたところでその株価指数を買い戻す(建玉を解消する)と利益になります。

金利相当額は一本値

取引所CFD金利相当額がかかりますが、受取側と支払側とで同額(一本値)に設定しており、「買建」だから金利が高い、といったことはありません。

金利相当額の算出には日本銀行の政策金利である無担保コール翌日物誘導目標を利用しています。

証拠金は全額保護

お客様からお預かりした証拠金は取引所へ全額を預け入れており、弊社が万一破綻したとしても、取引所に預託された証拠金は原則、全額保護されます。



詳細は当社ホームページにてご確認ください。

ホーム > 取扱商品 > 取引所CFD(株365)

<http://kabu.com/item/365cfd.asp>

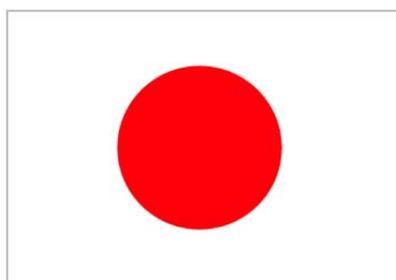
取引の対象となる株価指数

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

取引の対象は何か？：

取引対象は日経225等の株価指数です。FTSE100(イギリス)、FTSE中国25(中国)、DAX(ドイツ)といった、日本以外の海外株価指数に対して投資することもできます。また、海外市場が動いている夜間にリアルタイムで取引することができます。

取引の対象となる株価指数は下記4銘柄！



日経225 証拠金取引

東京証券取引所第一部に上場する株式銘柄のうち、株式市場を代表するものとして株式会社日本経済新聞社が決定した225の銘柄を対象とする、その指数採用株価の合計を「除数」で割って算出される株価指数。



FTSE100 証拠金取引

ロンドン証券取引所に上場する株式銘柄のうち、FTSEの時価総額及び流動性基準を満たした上位100銘柄で構成された株価指数



FTSE中国25 証拠金取引

香港証券取引所に上場する株式銘柄のうち、時価総額及び流動性が最も高い中国株式25銘柄で構成された株価指数。構成銘柄は、レッドチップ及びH株。



DAX® 証拠金取引

フランクフルト証券取引所に上場する株式銘柄のうち、時価総額上位30銘柄で構成された株価指数。算出される株価指数は、構成銘柄に配当が生じた場合に、その配当が指数に与える影響を加味した「配当込み」の指数(ネトータル・リターン指数)。

※  FTSE TWSE台湾50証拠金取引は、今後上場を予定しています。

※取引時間の詳細はこちらでご確認ください。→ <http://kabu.com/service/time.asp#365cfd>

日経225先物取引との違い

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

取引所CFDの日経225証拠金取引と最も近い商品に、「日経225先物取引」があります。日経225先物取引にも「日経225mini」があり、小口取引が可能になっています。では、取引所CFDの日経225証拠金取引と、日経225先物取引に違いやメリットはあるのか。主に4点が考えられます。

取引所CFDの日経225証拠金取引と日経225先物取引との違い

取引時間が長い(ほぼ24時間)

取引所CFDの日経225証拠金取引は、日経225先物取引と異なり、ほぼ24時間の取引が可能です。

日本市場が開いていない祝日や深夜の時間帯でも、海外市場の動向や為替を見ながらリアルタイムで取引ができます。



<http://kabu.com/service/time.asp#365cfd>

取引期限(限月)がない

日経225先物に限らず、先物取引には「限月(げんげつ)」と呼ばれる取引期限が決められていますが、取引所CFDにはありません。

保有する建玉を決済しない限り、自動的に翌取引日にロールオーバー(繰り越し)されますので、取引期限を気にせず取引をすることができます。



配当相当額の受け渡しがある

取引所CFDの日経225証拠金取引は日経225先物取引と異なり、買いポジションを保有していると、配当相当額がもらえます。ただし、売りポジションを保有している場合は配当相当額を支払う必要があります。 ※DAX®証拠金取引配当相当額が発生しません。



呼値が細かい

取引所CFDの日経225証拠金取引の呼値は1円です。日経225先物取引は10円、日経225miniでも5円のため、より細かい指値注文が可能です。

※マーケットメイカーが提示する買い気配と売り気配には差があります。その差は固定ではなく、広がる場合があります。



詳細は当社ホームページにてご確認ください。

ホーム > 取扱商品 > 取引所CFD(株365)

<http://kabu.com/item/365cfd.asp>

いくらから取引できるのか

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

取引所CFDはいくらから取引できるのか：

取引所CFDは、東京金融取引所が定める1枚あたりの証拠金(下図参照)を差し入れていただければ取引が可能です。ただし、目一杯に取引をすることは控え、余裕を持った取引を心がけましょう。

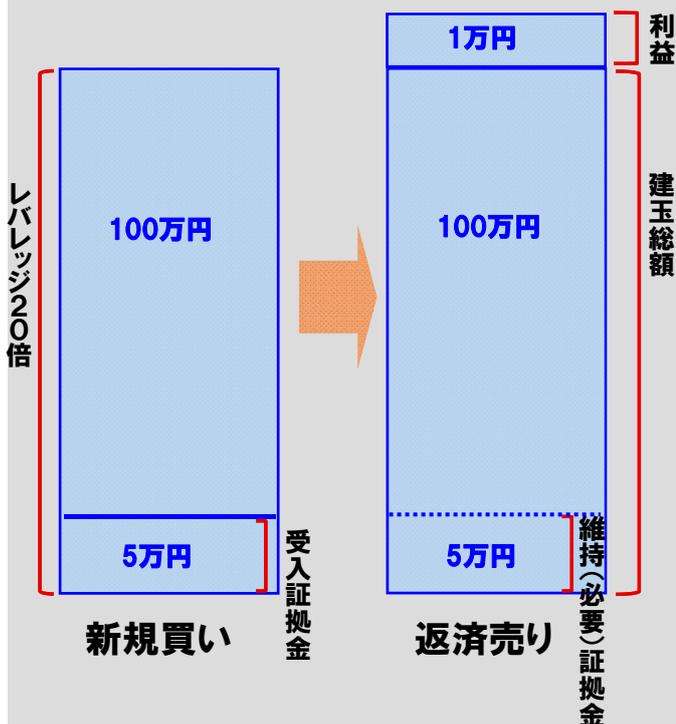
(※) 証拠金は週1回見直されます。

1枚あたりの必要証拠金	2011/10/31～2011/11/04 (※)
 日経225証拠金取引	42,000 円
 DAX®証拠金取引	45,000 円
 FTSE100証拠金取引	36,000 円
 FTSE中国25証拠金取引	99,000 円

取引所CFD(株365)の取引イメージ：

※取引単位は100倍。必要証拠金は50,000円とする。
手数料、金利・配当相当額累計は除く。

(例)50,000円を受入証拠金として差し入れ、日経225を10,000円で1枚新規買いをし、10,100円で返済売りをした場合。



必要証拠金
= 50,000円 × 1枚
= 50,000円

取引金額
= 10,000円 × 1枚 × 100倍
= ¥1,000,000円

レバレッジ
50,000円の証拠金で1,000,000円の取引をしていることになるので、
= 1,000,000円 ÷ 50,000円
= 20(レバレッジは20倍)

利益
= (10,100円 - 10,000円) × 1枚 × 100倍
= 10,000円

ただし、相場が思惑と反対に動いた場合は損失を抱えてしまうということを忘れてはいけません。

もし思惑とは逆に100円下落してしまったとしたら10,000円の損失となります。取引所CFDは、あくまでハイリスクハイリターンのレバレッジ取引です。

レバレッジをかけない取引

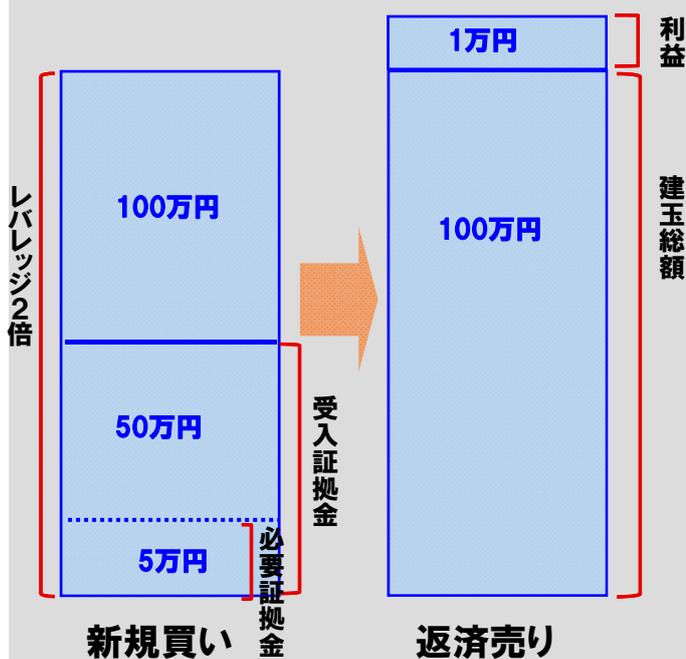
Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

受入証拠金を多く差し入れることによって、レバレッジをあまりかけず、
 余裕のあるお取引を行うことができます。
 受入証拠金を多く差し入れることは追証の防止にもなります。

取引所CFD(株365)の取引イメージ:

※取引単位は100倍。必要証拠金は50,000円とする。
 手数料、金利・配当相当額累計は除く。

(例)500,000円を受入証拠金として差し入れ、日経225を10,000円で1枚新規
 買いをし、10,100円で返済売りをした場合。



必要証拠金
 =50,000円×1枚
 =50,000円

取引金額
 =10,000円×1枚×100倍
 =1,000,000円

レバレッジ
 500,000円の証拠金で1,000,000円の取引をして
 いることになるので、
 =1,000,000円÷500,000円
 =2(レバレッジは2倍)

利益
 =(10,100円-10,000円)×1枚×100倍
 =10,000円

ここでもやはり、相場が思惑と反対に動いた場合は損
 失を抱えてしまうということを忘れてはいけません。レ
 バレッジをあまりかけない、余裕のある取引とはいえ、
もし思惑とは逆に100円下落してしまったとしたら
10,000円の損失となります。取引所CFDは、あくまで
 ハイリスクハイリターンレバレッジ取引です。

追加証拠金(追証)とは

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

追加証拠金(追証)とは:

証拠金維持率が100%未満となり(※)、追加で証拠金を差し入れる必要があることです。

※受入証拠金(現金残高+受渡予定額-振替出金依頼額+金利・配当相当額累計)÷維持証拠金

追証発生後は、当日の15:00(土曜日朝の発生の場合は月曜日の15:00)までに、追加証拠金を差し入れていただく必要があります。

判定後に取引所CFD画面「お客さま別お知らせ」に表示(メールでも通知)します。

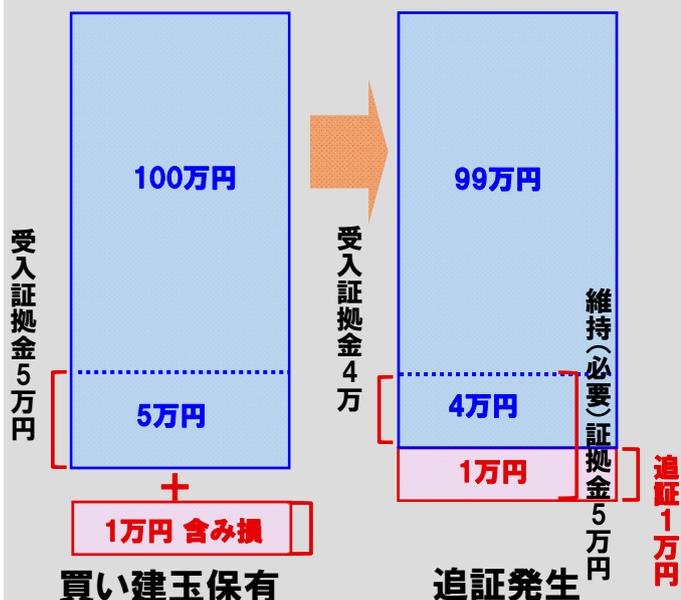


建玉の決済や相場変動等による証拠金率回復では追証解消にはなりません。
期限までに追証差入がない場合には、強制決済対象となります。

追加証拠金(追証)発生イメージ:

※取引単位は100倍。必要証拠金は50,000円とする。
 手数料、金利・配当相当額累計は除く。

(例)50,000円を受入証拠金として差し入れ、日経225を10,000円で1枚新規買いをした後、9,900円に下落してしまった場合。



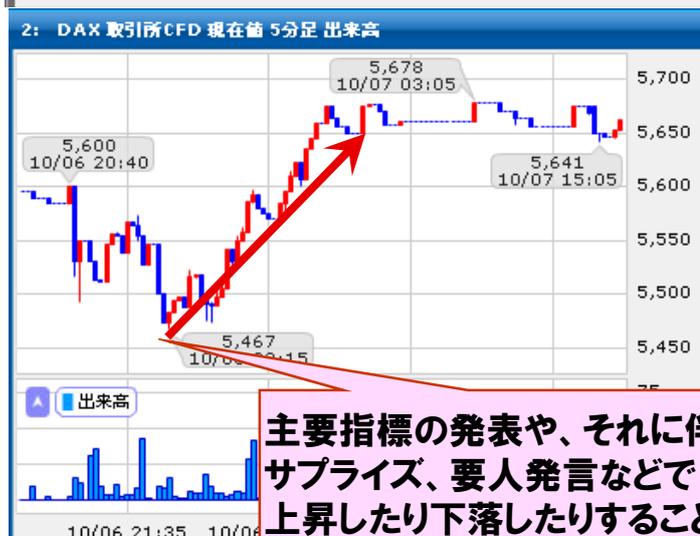
含み損
 $9,900 - 10,000 \times 100 = -10,000$ 円
維持証拠金
 $50,000 \text{円} \times 1 \text{枚} = 50,000$ 円
証拠金維持率
 $\text{受入証拠金} \div \text{維持証拠金} =$
 $(50,000 - 10,000 \text{円}) \div 50,000 \text{円} = 80\%$
追証金額
 $\text{受入証拠金} - \text{必要証拠金} =$
 $40,000 \text{円} - 50,000 \text{円} = -10,000$ 円

証発生中、差入期限到来前に口座内の証拠金率がロスカット基準に達したときには自動ロスカットが発動いたしますが、追証差入は必要です。

海外主要指標発表時の取引

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

・取引所CFDは、海外主要指標発表の際などにも投資機会があります。



主要指標の発表や、それに伴うサプライズ、要人発言などで上昇したり下落したりすることがあります。

左図は上から日経225、DAX、FTSE100の10/6～の5分足チャートです。

この日は以下のイベントがありました。

- 20:00 「英中銀MPC・資産買い入れ規模発表」
- 20:45 「ECB・政策金利発表」
- 21:30 「トリシェECB総裁会見」

結果はそれぞれ、

- ・「英中銀MPC・資産買い入れ規模発表」
→ **+750億ユーロ、量的緩和再開決定**
- ・「ECB・政策金利発表」
→ **1.50%据え置き**
- ・「トリシェECB総裁会見」
→ **今後利下げ検討発言**

上記により、金利は据え置いたものの、欧州中央銀行(ECB)が、経済成長を支援するために利下げを検討する必要があるとの考えを示したことによって、6日の欧州市場は大幅続伸しました。

ここで着目していただきたいのは、**変動幅**です。

左図は一見どれも同じように上昇しているように見えますが、それぞれ10/6 23:00頃～10/7 1:00頃の上昇幅をだいたいの数値でチェックしてみると、

日経225: 8,525 → 8,600 **上昇幅 75**
DAX: 5,500 → 5,650 **上昇幅 150**
FTSE100: 5,170 → 5,300 **上昇幅 230**

という結果となり、FTSE100とDAXは、より多くの利益が狙える可能性があったことが分かります。

発表される指標によっても、また様々な要因によって必ずしもこのような結果になるとは限りませんが、変動幅に着目すると、取引の機会は多くなりそうです。

反対方向に動いてしまった時のことも常に考え、余裕資金の範囲内で取引を行うことや、ストップ注文(逆指値)を活用することも大事です。

取引所CFDを使ったヘッジ

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

・日経平均に連動するETFや、中国株を運用対象とする投資信託等の下落リスクに対するヘッジにも、取引所CFDを活用することができます。

日経平均に連動するETFや日経平均と連動性の強い個別銘柄をヘッジ

ここで買ったとする

これ以上下がると困る



eMAXISシリーズの日経225連動ETFは、日経225(日経平均)に連動するETF(上場投資信託)です。

左図の日経225連動ETFの直近1年のチャートを見ると、下落が続いているようです。もしこの銘柄を保有していて、Aで「これ以上下がると嫌だな」と考えた場合、取引所CFD:日経225にて、同時期のAで売建てをし、うまく利益を出せたとするヘッジ(ETFの損失を取引所CFDの利益で相殺)になります。

ここで売建て

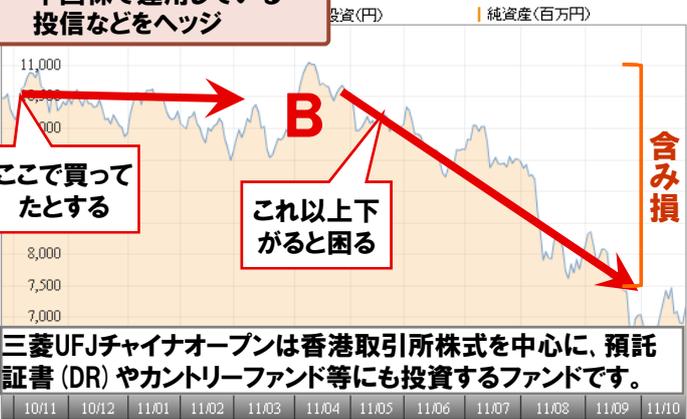


取引所CFD:日経225の1年チャート

中国株で運用している投信などをヘッジ

ここで買ったとする

これ以上下がると困る



三菱UFJチャイナオープン(香港取引所株式を中心に、預託証券(DR)やカントリーファンド等にも投資するファンド)です。

左図のチャイナオープンの直近1年のチャートを見ると下落が続いているようです。もしBで「これ以上下がると嫌だな」と考えた場合、取引所CFD:FTSE中国25で、同時期のBで売建てをし、うまく利益を出せたとするヘッジ(ファンドの損失を取引所CFDの利益で相殺)になります。

ここで売建て



取引所CFD:FTSE中国25の1年チャート

上記のヘッジ例についても、思惑とは反対方向に動いてしまった時のことを常に考えることが大切です。ヘッジするつもりが、反対方向に動いたために含み損が発生し、原資産(ヘッジする対象の資産)の上昇分を逆に食ってしまうことになりかねません。

常に反対方向に動くことを想定し、余裕資金の範囲内で取引を行うことや、ストップ注文(逆指値)を活用することが大切です。